

丸亀商工会議所

令和5年度 経営発達支援事業 事業報告書

(令和5年4月～令和6年3月)

令和6年5月

はじめに

丸亀市は第二次産業振興計画(2018年～2022年)において、地域産業の振興にあたっては、創意工夫を凝らし、技術を磨く自立した中小企業の存在と成長が不可欠であり、そのためには、自らが経営を革新し、新製品やサービスを積極的に生み出す「挑戦する中小企業」を積極的に支援する必要があるとしている。また基本理念として「未来の100年企業を育むまち・丸亀」を掲げ、関係機関と連携し、中小企業を支援することを目指している。

当支援事業では、「中心市街地や商店街の商業機能強化」、「新型コロナウイルス等による環境変化への対応」「新規創業の促進による地域活性化」という地域の小規模事業者がその事業を維持、発展させていくための課題を解決すべく、令和3年3月に認定を受けた経営発達支援計画に沿って、本年度も以下の各種事業を実施した。

I. 経営発達支援事業の目標

- 目標1 「中心市街地や商店街の魅力向上による出店の増加」
- 目標2 「コロナ禍でも利益を生み出せる体質改善による事業継続力の強化」
- 目標3 「小さくてもやる気溢れる起業の創出と事業承継支援」
- 目標4 「職員の資質向上による支援力の強化」

II. 経営発達支援事業の内容

1. 地域の経済動向調査に関すること

①公開されている2次データの活用促進

公開されている各種調査データをテーマごとに分類し、当所HPに掲載し活用を促すとともに、経営相談時において、小規模事業者各々の課題等に応じたデータを抽出し活用することで、ターゲット顧客の動向や業界内の競合分析等、外部環境の整理に活用した。

【地域経済等の動向に関するデータ】

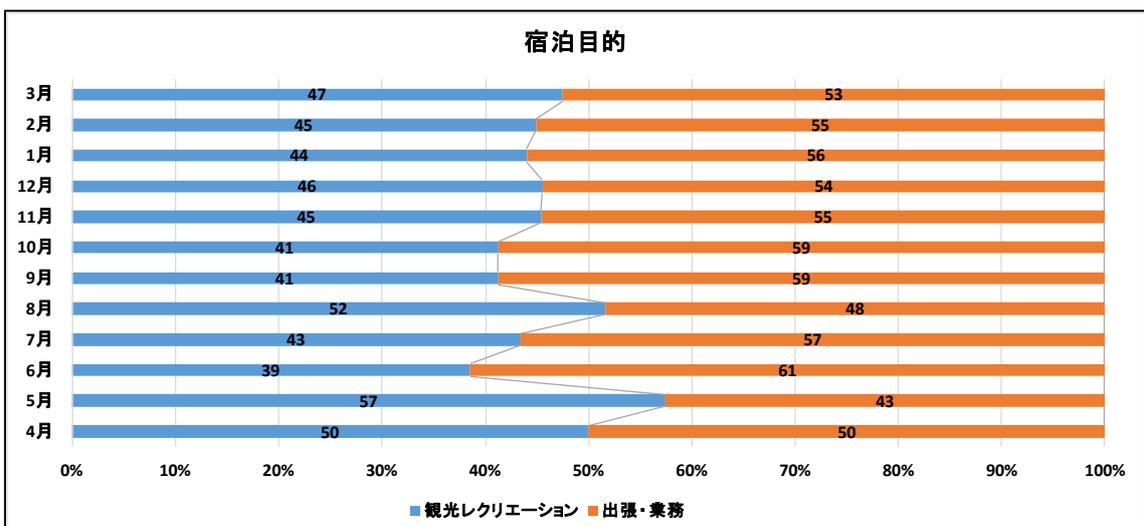
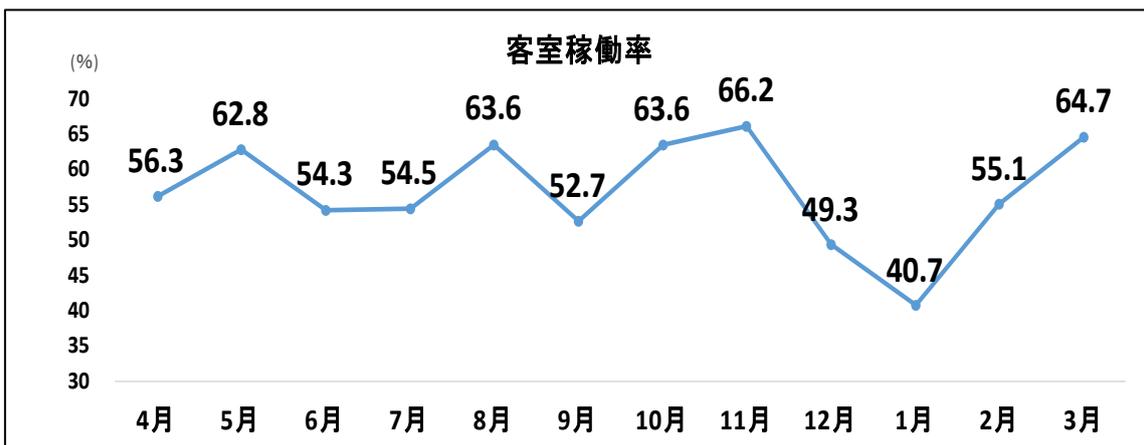
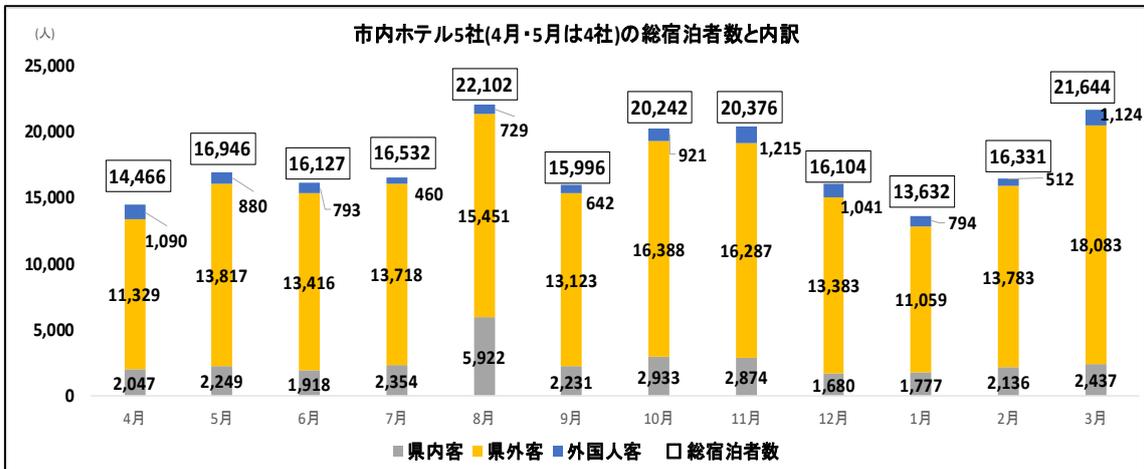
調査名	調査主体
中小企業景況調査	中小企業庁・中小企業基盤整備機構
四国地域の経済動向調査	四国経済産業局
日商早期景気観測調査	日本商工会議所
全国小企業月次動向調査	日本政策金融公庫

【人口構成・事業者数・観光客数】

調査名	調査主体
香川県統計情報データベース	香川県
丸亀市統計書	丸亀市
丸亀観光客数調査	丸亀市・丸亀商工会議所
丸亀市中央商店街通行量調査	丸亀商工会議所
丸亀市中央商店街空店舗調査	
丸亀市内宿泊者調査	

②丸亀市宿泊者調査の実施

市内の主要ホテルを対象に宿泊客数や来訪目的等を調査する「丸亀市宿泊者調査」を引き続き実施した。市内5社を対象としているが、4月・5月は臨時休業が1社あり、4社での実施となった。本調査により、市内を訪れる観光客等の増減を把握することで、小規模事業者がビジネスの方向性を模索するための基礎資料として活用できるよう努めた。



③国が提供するビッグデータ「REASAS」を活用した分析調査

(目標1件→実績1件)

経済産業省と内閣官房が各種統計資料を「見やすく、わかりやすく」提供している「REASAS (地域経済分析システム)」を活用し、当地域における産業構造や観光等をまとめたデータを当所HPにて公表した。本資料により、地域の強み・弱みを見える化することで、「すべきこと・できること」を見出し、優先順位をつけることで、事業者が効率良く需要を獲得できるよう支援した。

④地区内小規模事業者の景気動向調査 (目標2件 → 実績2件)

地区内の景気動向調査を下記の通り実施し、物価上昇やインボイスによる影響、コロナ関連融資の返済状況等の把握に努めた。作成した報告書は、当所HPに公表し、事業者に当地域の経済状況を把握していただくとともに、当所支援事業に活用した。

1回目

調査期間	令和5年11月17日(金)～11月30日(木)
調査対象	管内 50社(サービス業・建設業・製造業・卸売業・小売業)
調査項目	従業員数、売上高、仕入価格、経常利益、コロナ関連融資返済状況、物価上昇等の影響、インボイス制度等
調査手法	WEB(Googleフォーム)及びFAXにて調査票を送付・回収

2回目

調査期間	令和6年3月15日(金)～3月29日(金)
調査対象	管内 50社(サービス業・建設業・製造業・卸売業・小売業)
調査項目	従業員数、採用状況、賃上げについて、コロナ関連融資返済状況等
調査手法	WEB(Googleフォーム)及びFAXにて調査票を送付・回収

2. 需要動向調査に関すること

①顧客アンケートの実施及び分析支援

	目標件数	実績
アンケート実施事業者数	5件	4件
事業計画への活用件数	5件	3件

補助金申請に係る事業計画策定時や創業計画の策定時において、品揃えや価格の設定における参考データとして、顧客アンケートを提案し、実施・分析を行った。そのうち目標としていたGoogleフォームを活用したアンケートを実施した事業者はなく、小売業、飲食業等お客様と対面で接する業種では、「口頭でのヒアリングの方が実施しやすい」という声が多く挙がった。次年度に向けては、口頭で収集した情報の蓄積方法やデータ化が課題といえる。

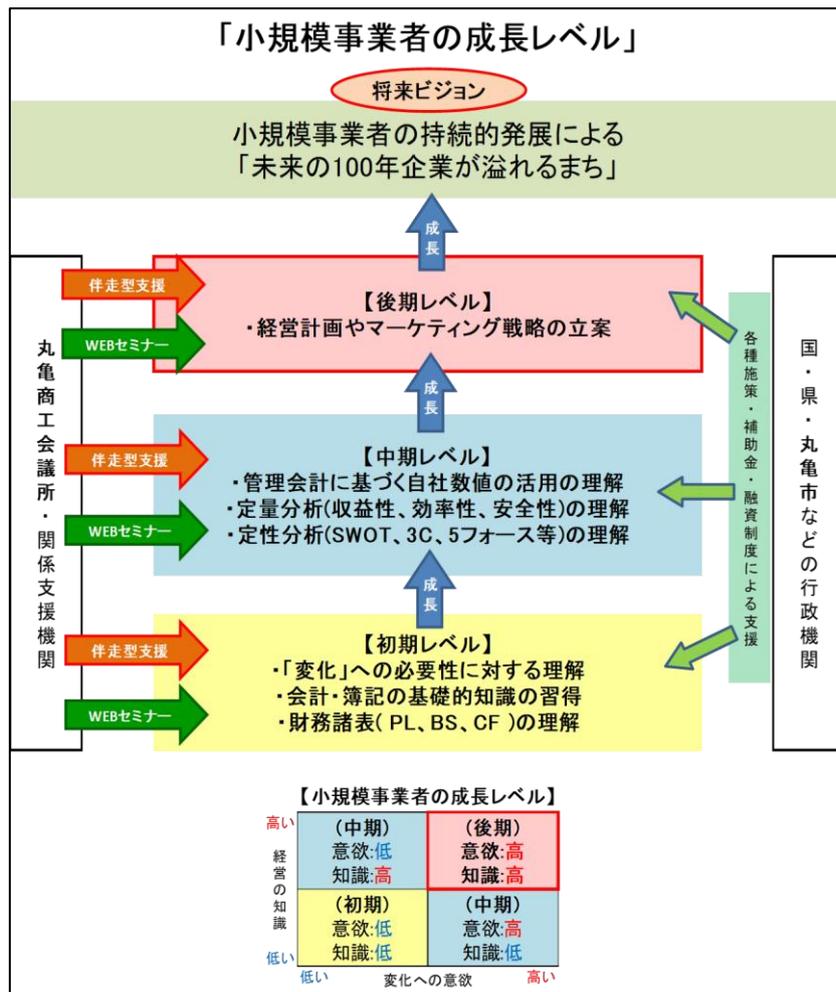
3. 経営状況の分析に関すること

① 小規模事業者の経営分析（目標 20 件→実績 30 件）

- ・小規模事業者持続化補助金や香川県事業者の未来への投資を応援する総合補助金等の申請にあたり、小規模事業者 28 事業者の経営分析を実施し、財務分析(収益性、安全性、資金繰り)やSWOT分析などを行うことにより、経営計画の策定をサポートした。
- ・令和5年度中に推薦を行ったマル経融資の申込事業者において、経営分析の必要性があると判断した事業者については、経済産業省が企業の経営状態の把握、いわゆる「健康診断」を行うツールとして推奨している「ローカルベンチマーク」を用い、財務分析等を実施した。

項目	件数
小規模事業者持続化補助金に係る経営分析等支援	26
香川県事業者の未来への投資を応援する総合補助金に係る経営分析等支援	2
マル経融資に係るローカルベンチマークによる財務分析等支援	2

② 「小規模事業者の成長レベル」の後期レベルへの移行数 (目標 12 件→実績 13 件)



小規模事業者持続化補助金等の申請により、経営計画やマーケティング戦略の立案を積極的に支援したことで、経営者自らが経営を見つめなおす機会の創出や当事者意識が向上し、前頁表の「後期レベル」への移行をサポートした。昨年度までは目標に達しなかったが、本年度は目標件数を達成できた。中には経営者自身が定性、定量分析の結果を基に、経営計画やマーケティング戦略を作成する等の自走化に至る事業者があり、伴走型支援の成果が徐々に表れているといえる。

4. 事業計画策定支援に関すること

① 個別相談会の開催（目標 常時→実績 4件）

過去において小規模事業者持続化補助金申請時に経営計画を策定した事業者等を対象に、進捗状況の確認、事業計画の見直し等を行う個別相談を実施した。

個別相談	件数
	4

② 事業計画の策定支援（目標 10件→実績 28件）

・下記の補助金の申請にあたり、28事業者の事業計画策定を支援した。

小規模事業者 持続化補助金	申請件数	うち計画策定支援	うち採択件数
	58	26	19（他3件審査中）

香川県未来への投資を 応援する総合補助金	申請件数	うち計画策定支援	うち採択件数
	7	2	2

③ 創業計画の策定支援（目標 5件→実績 23件）

・創業支援については、今年度より丸亀市から創業塾等の事業を受託したことに伴い、目標を大きく上回る、23事業者の事業計画策定を支援した。

創業相談	相談件数(事業者数)	うち計画策定支援
	135 (55事業者)	23

④ 事業承継計画の策定支援（目標 2件→実績 1件）

・事業承継にあたり、2事業者の相談があり、うち1事業者の計画策定を支援した。

事業承継	相談件数	うち計画策定支援
	2	1

⑤ 小規模事業者のニーズに沿ったWEBセミナーの開催

小規模事業者が、税務・財務・経理、経営、販路開拓、経営革新・事業承継、労務等のコンテンツに分類された600以上のセミナーを「学びたいとき」に「興味がある内容」を「いつでも、どこでも、繰り返し受講できる」ことを目的に、「丸亀商工会議所WEBセミナー」を引き続き開設し、事業者自身が意欲的に学ぶことでレベルアップを図った。

ようこそ！丸亀商工会議所 ゲスト会員様
ログイン

丸亀商工会議所

WEB SEMINAR

本サイトについて

よくあるご質問

サービス提供
Brain
株式会社ブレイン

🔍

☰ カテゴリー

ピックアップセミナー

人気ランキング

事例に学ぶ 中小企業「成功の方程式」

事例に学ぶ
中小企業「成功の方程式」

アニマル・スピリッツで勝つ！

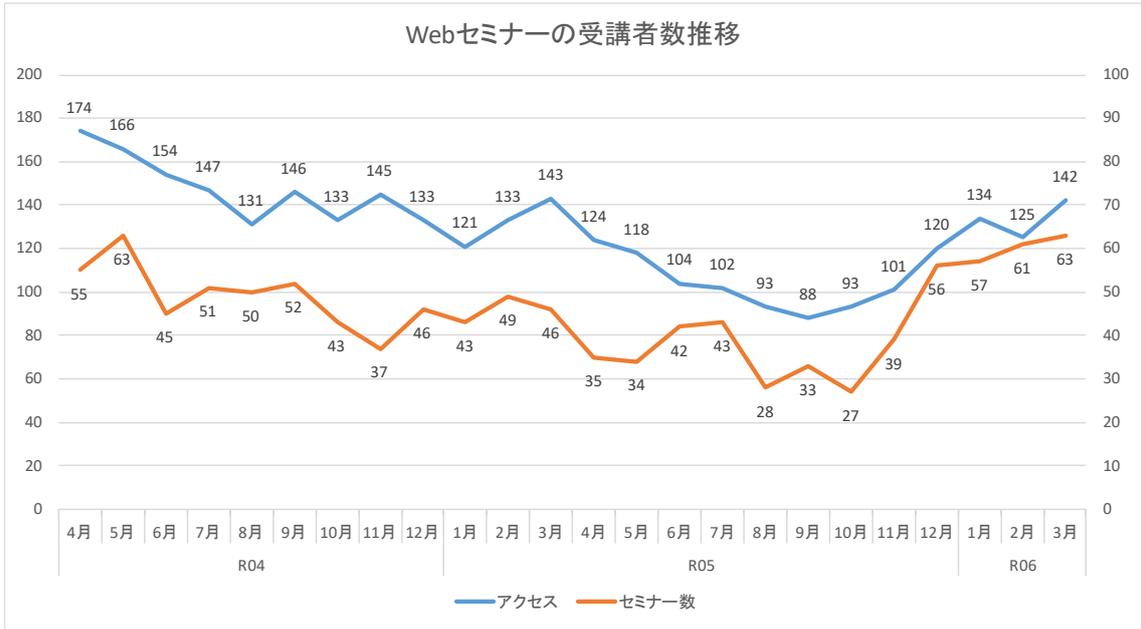
オンリーワン企業になって利益増
厳しい環境での逆転勝利から学ぶ

一見非合理的であっても、強い信念に基づき、自社にしかできない提案を打ち出す。その実現に向けて速やかに推し進めることができるのが中小企業の強みです。差別化戦略によって利益を上げた成功事例を、実際に携わった講師をご紹介します。競合他社に勝利するための戦略を打ち出す一助としてぜひご視聴ください。(38分)

西川 靖志 (にしかわ やすし)

中小企業診断士 / 経営コンサルタント

視聴・詳細情報はこちら



同WEBセミナーにおいて、令和5年度はアクセス総数 1,344 回(月平均 112 回)、受講セミナー種類数 518(月平均 43)という結果となり、令和4年度より減少し、目標である年間視聴回数 2,500 回は達成できなかった。要因としては、令和5年5月から新型コロナウイルス感染症が「5類感染症」となったため、リアル開催のセミナーが各地で増加したことが挙げられる。しかし、WEBセミナーは時間が限られている経営者にとって魅力的なコンテンツであるため、引き続き関係機関と連携し、よりニーズのあるセミナーの開催と周知方法の工夫により、利用促進に努めていきたい。

5. 事業計画策定後の実施支援に関すること

① 事業計画策定事業者のフォロー

策定した計画に基づき意欲的に事業を展開しようとする事業者に対して、フォローを実施した。支援回数としては、令和5年度中に計画を策定した事業者については2か月に1回、令和4年度中に策定した事業者に対しては4か月に1回、それ以前に策定した事業者に対しては、半年に1回の頻度でフォローアップを行った。

これらの巡回指導等を通じて、補助金採択後や創業後の販路開拓等に係る計画の進捗状況の確認を行い、必要に応じて計画の修正をサポートすることで、売上・利益の確保に努めた。今後も継続的に支援しつつ小規模事業者自身が課題を見つけ、実施できる体制を整えられるよう支援していく。

【事業計画】

目標項目	目標	実績
フォローアップ対象事業者数	10社	14社
頻度(延回数)	64回	68回
売上増加等の目標達成者数	6社	8社
利益率2%以上増加の事業者数	3社	3社

【創業計画】

目標項目	目標	実績
フォローアップ対象事業者数	5社	11社
頻度(延回数)	36回	42回
売上増加等の目標達成者数	2社	5社
利益率2%以上増加の事業者数	—	—

【事業承継計画】

目標項目	目標	実績
フォローアップ対象事業者数	2件	1件
頻度(延回数)	8回	2回
売上増加等の目標達成者数	—	—
利益率2%以上増加の事業者数	—	—

② 日本政策金融公庫「小規模事業者経営発達支援融資制度」事業計画策定

→令和5年度は申込者なし。

6. 新たな需要の開拓に寄与する事業

① WEB展示会場「丸亀えーもん市場」の運営と小規模事業者の動画制作



小規模事業者が展示会等に出店するには、資金や人材不足が障壁となり、なかなか実行できないのが現状と言える。よってWEB上に仮想展示会場を開設し、魅力ある小規模事業者の商品やサービスを動画で楽しくわかりやすく紹介する「丸亀えーもん市場」を平成28年度より開設し、地区内小規模事業者のPRに努めている。

本年度は小規模事業者の商品やサービスを根本から見つめ直し、強みを明確化させることで他社との差別化を図りつつ効果的にPRできるよう、昨年度同様に対象事業者を3社に絞り込み、PR動画(約5分)に加え、コマーシャル映像(15秒~30秒程度)も併せて制作。HPやSNS等に掲載してもらうことで、商品やサービスの概要が短時間で訴求でき、PR動画や該当ページへの誘導がスムーズに行えるように支援を行った。出展後に聞き取り調査を実施したところ、売上が増加した事業者は2社という結果になった。売上が増加しなかった1社についても、「今後の方針や取り組むべきことが明確になった。取り組むべきことに優先順位がつけられた」という前向きな回答が得られた。また、令和4年度までに出展した事業者の中から、6社に対し、ヒアリング調査及び計画の立案・修正を行った結果、4社の売上増加に貢献した。本年度も昨年度に引き続き展示数、売上等増加事業者数どちらも目標を達成した。また、アクセス数は目標を大きく上回る結果となったが、これは会館やJR丸亀駅、丸亀市役所のデジタルサイネージへの動画掲載、商工会議所SNS等でのPRによるものといえる。

「丸亀えーもん市場」での売上等増加事業者 (目標6件→実績6件)

目標項目	目標	実績
「丸亀えーもん市場」展示数	62社	62社
「丸亀えーもん市場」アクセス数	1,500件	5,071件
売上等増加(5%以上)事業者	6社	6社

7. 事業の評価及び見直しをするための仕組みに関すること

・事務局内部における定期的な情報共有と内容の検討

事務局内部において「伴走型支援連絡会議」を開催し、事業の実施状況についての報告と確認を行うとともに、今後の取組について検証等を行った。

・「評価委員会」設置による事業の評価・検証・見直し案の検討

香川大学経済学部准教授、中小企業診断士、四国税理士会丸亀支部事務局長、丸亀市産業観光課長、香川県団扇商工業協同組合代表理事、小規模事業者の代表者、法定経営指導員などの有識者で構成される評価委員会を令和4年度事業報告書については、書面評価にて実施し、事業の実施状況や成果の評価、並びに次年度に向けた見直し案の提示を受けた。

・正副会頭会における事業評価・検証及び見直し

上記の評価委員会で提示された事業評価・見直しの結果については、正副会頭会に報告し承認を受けた。

・計画の評価及び見直し結果の公表

上記会議にて決定した事業の成果・評価・見直し等の結果について、地域小規模事業者に広く公表するために、商工会議所のHPに掲載した。

① 他経営指導員や支援員との支援の現状やノウハウ等についての情報交換。

「商工会議所経営支援事業担当職員研修会」(年2回)

「丸亀税務署管内青色申告会連合会諸会議」(年4回)

「地域支援機関等サポート事業に係る『香川県中讃地域支援能力向上講習会』」(年2回)

② 行政との情報交換や意識の共有

丸亀市産業観光課、香川県経営支援課等との情報交換(随時)

8. 経営指導員の資質向上等に関すること

① 中小企業大学校が主催する支援担当者研修への参加

・中小企業支援担当者等研修(上級研修)

「経営改善・企業再生支援の進め方」(令和5年6月12日～6月16日)

・中小企業支援担当者等研修(専門研修)

「顧客に愛される高収益な会社づくりの支援」(令和5年8月29日～8月31日)

・中小企業支援担当者等研修(基礎研修)

「税務・財務診断〔(旧)基礎研修I〕」(令和5年8月21日～9月15日)

・中小企業支援担当者等研修(専門研修)

「小規模企業の目利き力アップ(ものづくり)」(令和5年10月17日～10月19日)

・中小企業支援担当者等研修(専門研修)

「対話から始める伴走型支援の進め方」(令和5年12月6日～12月8日)

②日本商工会議所や中小企業基盤整備機構等が主催する経営指導員等研修への参加

- ・『デジタル化支援メニュー』の活用に関する商工会議所職員向けセミナー（令和5年4月25日）※オンライン
- ・「2023年度若手経営指導員のための小規模事業者支援の基礎研修」（令和5年5月10日～11日）※オンライン
- ・「商工会議所の情報発信力強化支援『広報初心者のためのプレスリリース作成オンラインセミナー』」令和5年6月1日～30日※オンデマンド配信
- ・「ChatGPTが中小企業のビジネスを変える！課題解決に向けた新たな可能性」（令和5年6月27日）※オンライン
- ・「IoT・Cloud活用セミナー～kinton×IoT～」(令和5年7月6日) ※オンライン
- ・「第10回商工会議所経営指導員全国研修会（支援力向上全国フォーラム）（特定商工会議所中小企業相談所直面問題会議）」(令和5年7月6日～7日)
- ・「地域支援機関サポート事業に係る『四国伴走型支援ゼミナール』」(令和5年7月6日～7日、10月27日、令和6年1月25日～26日)
- ・「令和5年度第4回IT支援力向上講習会『直前対策！インボイス開始後の実務への影響～事業者支援で支援者が必ず押さえておきたいポイント～』」(令和5年7月18日～31日) ※オンデマンド配信
- ・「商工会議所デジタル化に向けた職員情報交換会&デジタルツール展示会」(令和5年7月21日)
- ・「2023年度『商工会議所若手・中堅職員研修会』」(令和5年7月24日～25日)
- ・「DX推進による中小企業の業務効率化のポイントと落とし穴」(令和5年8月3日) ※オンライン
- ・「令和5年度地域支援機関等サポート事業に係る『経営支援員・補助員向け経営支援能力向上講習会』」(令和5年8月24日～25日)
- ・「2023年度マル経等基礎研修会」(令和5年9月8日) ※オンライン
- ・「令和5年度経営改善資金推薦団体連絡協議会」(令和5年10月27日)
- ・「令和5年度香川県下商工会議所経営指導員視察研修会」(令和5年11月21日～21日)
- ・「金融機関連携創業セミナー ～県内の金融機関と信用保証協会が実践的なアドバイス～『香川県創業塾 フォローアップ講座』かがわで始める。かがわでつながる。」(令和5年11月29日、12月6日、13日) ※オンライン
- ・「生成AI(ChatGPT・GoogleBard等)の商工会議所業務での活用に関するオンラインセミナー(生成AI初心者向け)」(令和5年12月1日) ※オンライン
- ・「経営発達支援計画認定支援機関向け支援能力向上講習会」(令和5年12月7日～8日)
- ・「2023年度事業環境変化対応型支援事業『省エネ対策に関する経営指導員向けオンライン研修会』」(令和5年12月19日) ※オンライン
- ・「知財経営支援ネットワークによる知的財産ケーススタディセミナー」(令和5年12月20日)

日)

- ・「令和5年度第9回 IT 支援力向上講習会『支援業務での生成 AI の使い所～ChatGPT は活用できるか?～』(令和6年1月15日～31日) ※オンデマンド配信

③支援スキルを組織内で共有するための取組み

- ・経営指導員や支援員同士の勉強会(月2時間)
- ・若手職員の支援スキル向上(窓口や巡回指導時におけるOJTによるノウハウの伝達)

9. 地域経済の活性化に資する取組みに関すること

① 中心市街地や商店街の魅力向上

平成12年から開催していた「まるがめ婆婆羅まつり」については、猛暑による熱中症問題に加え、花火の残渣や長時間の交通渋滞など、来場者の安全確保の面で様々な問題が発生していることに鑑み、令和5年度以降の廃止が決議され、実行委員会を解散した。

② 商店街における歳末イベントの実施

商店街における歳末の販売促進を目的として、丸亀市中央商店街振興組合と連携し、協賛店で買い物をすることで配布される抽選券1枚につき1回の抽選が可能となるイベントを、商店街の空き店舗を活用して令和5年12月17日(日)、18(月)に開催した。

③ 専門学校生とコラボした小規模事業者のロゴマーク等制作(5社)や商店街活性化事業(産学官連携事業)



▲学生が制作したロゴマーク

ロゴマークは、社名等が単なる文字でなく「かたち」として認識され、顧客や取引先の印象に残り、企業のイメージ定着が図れる。また、商品パッケージなども、「どの会社の何という商品」といった情報がわかりやすくなり、他商品との差別化が図れ、販促効果も期待できる。よって独自のロゴマークや商品パッケージ、ポスターなどを作成したいが、時間や費用等

の関係により、躊躇する小規模事業者のために、丸亀市及び穴吹デザインカレッジと連携し、学生のキャリアアップと市内商工業の振興を目的として、ロゴマーク等のデザイン制作をサポートした。

また、香川短期大学で食物栄養を専攻する学生や香川県農業協同組合丸亀統括店と連携し「地元農産物を活用した食品レシピ開発」にも取り組み、完成したレシピを商店街にて配布することで、商店街のPR等に取り組んだ。

▼歳末大感謝祭での配布の様子



④造船所見学会の開催

造船所の見学を通じ、未来を担う幼稚園や小・中学生に、船の魅力やものづくりの素晴らしさを理解してもらうために、日本財団の支援を受け、(一社)日本中小型造船工業会と共同で実施。新型コロナウイルスの感染状況を考慮しつつ、見学会等を下記の通り開催した。

- ・工場見学

令和5年10月16日(月)(於 今治造船(株)丸亀事業本部)

丸亀市立飯山北小学校より、児童・保護者 26名参加

- ・進水式見学

令和5年8月4日(金)(於 興亜産業(株))

丸亀市立しおや保育所、丸亀市立城東小学校、丸亀市立南中学校より、児童・生徒等 160名参加

(総括)

2回目の認定を受けた経営発達支援計画に沿った各種事業の推進は令和5年度が3年目であった。本年度は新型コロナウイルス感染症が5月に5類へと移行したことで、経済活動が正常化され、大手企業を中心に設備投資意欲の顕在化や高い賃上げが実現される等、停滞から成長への転換期となった。しかしながら、原材料費・エネルギーコストの高騰や円安を背景とする物価上昇、深刻化する人手不足等、小規模事業者を取り巻く経営環境は依然として厳しい環境にある。

当所としては、様々な経営環境変化への対応や創業希望者に対する経営支援のレベルアップを図るため、各種研修等への参加や活発なOJTを行った。特に研修においては、受講しやすいオンラインやオンデマンド配信を積極的に活用し、例年以上に経営指導員等の資質向上を図る等、地区内小規模事業者の経営発達支援に努めた。

事業者向けに配信しているWEBセミナーについては、昨年度よりアクセス数が減少し、目標に届かなかったものの、「いつでも、どこでも、繰り返し受講できる」ため、内容やPR次第では、事業者にとって非常に有益な施策となり得ると考えられる。今後も経営環境や事業者のニーズに合致した内容となるよう、引き続き㈱イーブレーションに要望していくとともに、当所HPやSNS等を活用した周知に努めることで認知度向上を図る。

また、補助金申請時における事業計画や開業時における創業計画の策定件数は目標を大きく上回る結果となった。補助金申請時の支援においては、重点的支援を行った事業者の多くは採択につながっており、事業者の課題設定力や問題解決力の向上に加え、経営指導員等の研修やOJTによる成果が表れたものといえる。また、計画策定や補助金採択、創業がゴールではなく、「何のためにやるのか」、「どのような効果を目指すのか」という経営の本質的な部分を、事業者との「傾聴と対話」を通じて引き出す支援が求められおり、「経営者自らが考え、実行できる」伴走型の支援を次年度も引き続き行っていきたい。

さらに、小規模事業者のPR動画制作については、商品やサービスの内容にまで踏み込んだ重点的な支援が必要であると判断し、対象事業者を3件に絞っている。商品の本質的な強みやそれに伴うアピールポイント、他との違いを明確化し、コンセプトを固めることで、それらを的確に表現する動画を制作している。これにより、商品やサービスの概要が短時間でわかりやすく訴求でき、結果として、問い合わせや引き合いが増加し、売上増加につながっている。課題としては、「制作した動画をいかに継続して活用していくか」、「事業者が主体的に宣伝媒体を作成・発信していくか」が挙げられるため、次年度は専門家を活用したSNS等の運用支援も視野に入れ、引き続き積極的に取り組んでいきたい。

一方で、前向きな支援だけでなく、場合によっては、根本的な収益力改善やスムーズに事業を終了させる廃業支援、並びにM&Aを含む事業承継支援等、各事業者の実情に即した対応を心がける。次年度もより一層、関係各所と連携を深めつつ、地区内小規模事業者のニーズに応じたきめ細やかな伴走型支援に努め、日本商工会議所が掲げる「現場主義」、「双方向主義」のもと、事業者の自己変革による「稼ぐ力」の向上と丸亀市が掲げる「未来の100年企業」の創出に向けた持続的成長を支援していく。

(事業に対する有識者の評価)

(会 議 名) 令和5年度 経営発達支援事業 評価委員会(書面評価)

(議 題) (1)令和5年度経営発達支援事業に係る評価について

(評価方法) 書面による評価を実施

(評価期間) 令和6年5月14日(火)~21日(火)

(評 価 者)

丸亀市中央商店街振興組合連合会 代表理事 杉尾 英美 氏

香川県うちわ協同組合連合会 代表理事 山田 時達 氏

丸亀市産業観光課 課長 平尾 聖 氏

四国税理士会丸亀支部 事務局長 松井 政行 氏

国立大学法人香川大学経済学部 准教授 渡邊孝一郎 氏

中小企業診断士 山崎 純一 氏

以上6名

(評価の概要)

○丸亀市中央商店街振興組合連合会 杉尾代表理事より

- ・丸亀市宿泊者調査の内容で、8月が突出して増えている。何か要因があったのか、調査しても良いと思う。
- ・地区内小規模事業者の景気動向調査における「2回目の3月調査」の中に「賃上げについて」の項目があるが、今の社会情勢の中での重要課題であり、実態や経営への影響も掘り下げること、対応の参考にすれば良いのではないかと感じる。
- ・顧客アンケートのなかで、「口頭でのヒアリング」を要望する声が出ているが、至極もっともだと思う。次年度も、この現実を前提に実施すべきだと思う。
- ・小規模事業者の補助金にかかわる経営分析支援の件数が、昨年比で大きく増えている。補助金獲得を目指す企業の増加の表れだが、記載の通り少しずつでも「レベルアップ」をめざし、事業の発展的継続に結びつけたいと思う。また、持続化補助金の申請件数も、昨年比で大きく増加している。同じく補助金申請件数の増加が見てとれるが、きめ細かい対応が引き続き大切だと思う。
- ・創業相談の相談件数も、前年比で倍以上に増加している。創業塾事業の受託など要因はあるが、計画策定支援の件数ともども評価できる。一方、事業承継計画の策定支援では、昨年に引き続き当案件の難しさが理解できる。
- ・事業計画策定後の事業者のフォローは大切なものであり、実績が目標を上回っているのは評価できる。
- ・「丸亀えーもん市場」のアクセス数は、新たな項目だが、実績が目標を大きく上回っており、評価できる。
- ・経営指導員による各種研修への参加を活発におこなっており、評価できる。
- ・商店街における「歳末イベント」や「産学官連携事業」は引き続き実施していただければ、

ありがたい。

- ・総括の部分で、計画策定・創業等、「何のためにやるのか」等の経営の本質部分への問いかけが記されている。正当な内容で「社会貢献・利他・協調・環境配慮」などの思想が、今後はいっそう大切になると感じる。また、「廃業支援」も一見後ろ向きな姿勢との見方とも取れるが、今後の大切な視点・課題だと考える。

○香川県うちわ協同組合連合会 山田代表理事より

令和5年度は、新型コロナウイルスが5類へと移行したことに伴い、各種の行事やイベントが徐々に活気を取り戻しつつあるものの、取引先の方針や予算配分などが大幅に見直されるケースも多く、完全に元の状態に戻ることは難しい状況であると言える。そのように環境の変化が大きい状況において、どのように対応していくべきかを共に考え支援してもらえる商工会議所の各種支援は、小規模企業者にとって大変頼もしい存在であると言える。連合会として、また一事業者として、今後も伝統的工芸品である丸亀うちわの活用や販路拡大、新商品の開発などの諸課題に対する支援を期待したい。

○丸亀市産業観光課 平尾課長より

- ・宿泊者調査を受けての分析や今後の目指すべき方向性を示してほしい。
- ・景気動向調査では、コロナ後における業況の回復や人材不足や賃上げに対する状況が読み取れた。
- ・事業承継計画の策定支援において目標を達することができていないが、何が原因だったのか示してほしい。
- ・WEBセミナーは非常によい取り組みだと思う。視聴回数は前年に比べ減っているが、ニーズにあった内容に常にリニューアルするとともに、本事業を広く知っていただくためのPRに努めてほしい。
- ・事業計画策定後のフォローも目標を大きく上回る実績をあげており、継続的な支援が行えた。
- ・WEB展示会場「丸亀えもん市場」においては、強みを明確化させることで効果的なPRができるように努めたようだが、このことによって売り上げが6社増加していることは評価に値する。今後、展示数の更なる増加を期待する。
- ・昨年度の課題「自走化」と「IT化の推進」についての取り組みがどうだったのか記載が見られない。

○四国税理士会丸亀支部 松井事務局長より

小規模事業者にとって、経営指導員等の支援は頼もしい存在といえる。引き続き事業計画策定事業者のフォローアップに努める等、小規模事業者の実情に応じたきめ細やかな伴走型支援の推進を期待したい。

今後も、小規模事業者の問題解決の一助のため、経営指導員等は一層の知識向上と洞察力が求められると思う。

また、現在多岐にわたって施策を講じていると見受けられるので、スクラップアンドビル
の考えで、重点施策を絞っても良いと思う。

○国立大学法人香川大学経済学部 渡邊准教授より

まずは新型コロナウイルス感染症の5類感染症移行に伴い、これまで多くの面で制限が
かかっていた事業活動が少しずつであるが正常化し始めた中で、様々な面から支援事業を
されてきたことが確認・評価できます。さらに多くの事業や調査で実績が目標値を達成して
いることから一定の効果があったものと考えられます。

また、WEBセミナーに関しても減少したとはいえ、増加傾向にあり、引き続きリアル開
催のセミナーとは棲み分けのうえで積極的に実施してもらえればと思う。

宿泊者調査に関しては年単位の推移も図表することができれば、より大きな動きを把握
できわかりやすいのではないかと思います。

今後も経営支援以外にも地域・地域イベント等とも関連させた支援策等で地域ともども
丸亀市を活性化していくことを期待したい。

○山崎中小企業診断士より

今年度は、コロナウイルスの感染が落ち着き本来の活動ができる環境になったが、円安な
などによる物価高、コストアップの状況に直面して、小規模事業者の経営が二極分化してきて
いる。本事業は、こうした環境下で小規模事業者を様々な視点でサポートしている。

事業では、WEBセミナーは目標に達しなかったようだが、補助金申請において大きく目
標をクリアし、小規模事業者の支えとなった。毎年実施しているPR動画についても絞り込
みを行って質を高めている。既述の二極分化に対応したよりきめ細やかな取組みが求めら
れてきている。当地域の小規模事業者の直接的支援とともに、モデル企業の発信につとめ、
より地域に影響力のある事業となることを期待したい。

(評価に基づいた次年度方針案)

評価委員からは、経営分析や計画策定件数については高い評価をいただき、小規模事業者
への経営支援に対する商工会議所や経営指導員等の存在意義について、一定の評価を得る
ことができた。ただ適時受講可能なWEBセミナーについては、好意的な評価を得ているも
の、視聴回数の増加に向けてより事業者のニーズに沿った内容を検討する必要がある。ま
た、各種調査における結果の分析や目標に達していない項目の要因考察等、各事業の深堀り
についての指摘があった。

今回の意見を踏まえ、経営分析や計画策定支援等を引き続き積極的に実施するとともに、
令和6年度は行政や関係機関とともに各種調査結果の活用や要因の分析に努める。また、目
標に達しなかった顧客アンケートやWEBセミナーについては、事業者へのヒアリングに
よる意見収集を行いつつ、小規模事業者の実情に応じた対応に努めると同時に、引き続き経
営指導員等の資質向上に努め、さらにきめ細かな支援やフォローアップを行っていきたい。

(事業の評価を報告し、次年度見直し案の承認を受けた正副会頭会)

(会 議 名) 令和6年度第1回正副会頭会

(開催日時) 令和6年5月28日(火) 午後4時～午後5時40分

(開催場所) 丸亀商工会議所 会頭室

(議 題) (1) 常議員会提出議案について

(2) その他

・令和5年度経営発達支援事業報告書 評価並びに次年度方針(案)について 他

(出席者)

丸亀商工会議所	会 頭	高濱 和則
丸亀商工会議所	副 会 頭	近澤 亨
丸亀商工会議所	副 会 頭	渡部 健司
丸亀商工会議所	副 会 頭	眞鍋 宣訓
丸亀商工会議所	顧 問	森 茂
丸亀商工会議所	専務理事	藤井 公雄
丸亀商工会議所	事務局次長	合田 浩治
丸亀商工会議所	所 長	横山 祥三

(議事の概要)

評価委員会における評価を報告し次年度方針案を諮ったところ、異議なく承認を受けた。